

# 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月 日

協議会名: 二本松市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
昭和タクシー株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>岩代地域コミュニティバス</li> <li>(1)田沢コース</li> <li>(2)広瀬経由杉沢(上り)</li> <li>(3)広瀬経由杉沢(下り)</li> <li>※一丁内</li> <li>自治体広報による利用促進</li> </ul>	<p>【前回の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各所への時刻表及びチラシ配布による広報を実施し、利用促進を図る。</li> <li>各公共交通に関するアンケートを基に、利用者が使いやすい公共交通になるように修正していく。ただし、令和5年度に安達東高校と二本松工業高校が統合し、安達東高校に在籍している現在の生徒が卒業すると岩代地域での公共交通の利用者が大幅に減少することが予想されることから、その影響を踏まえて路線の再編成を検討する。</li> </ul> <p>【評価結果の反映状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>時刻表、パンフレットの配布を継続的に行った。</li> <li>市民アンケートで抽出した課題を新たな公共交通計画に反映した。今後、新たな計画をもとにバスの再編、デマンドタクシーの利用向上を目指すこととなった。</li> <li>通学利用者に合わせた臨時便の運行を都度行った。</li> </ul>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	C 【目標値】年間7,964人 【実績値】年間5,726人 【達成率】71.9% 岩代地域の高等学校(二本松実業高等学校安達東校舎)がR6年度をもって閉校予定であり、R5年度から新規入学生を受け入れしていないことによる、通学利用者の減少により、すべての系統で利用者が減少した。なお、通学利用者の減少に伴い、広瀬経由杉沢(上り)は、補助対象期間の1回当たりの輸送量が2人未満となり、補助対象外となった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光資源のPRを図りながら公共交通の利用を促し、利用増加を目指す。</li> </ul>

※枠の大きさの変更は可能です。